

マイクロコントローラ技術情報

技術通知 μPD78F0711, μPD78F0712, μPD78F0714 用 インサーキット・エミュレータ QB-780714 使用制限事項の件				発行番号		ZBG-CD-07-0080号		1 / 2	
				発行日		2007年11月19日			
				発行部門		NEC エレクトロニクス株式会社 マイクロコンピュータ事業本部 汎用マイコンシステム事業部 開発ツールソリューショングループ			
文書分類	☐	使用制限事項		バージョンアップ		ドキュメント誤記訂正 (正誤表)		その他	
関連資料	QB-780714ユーザーズ・マニュアル 資料番号: U17366JJ5V0UM								

1. 対象製品

対象製品名	概 要	管理記号 ^{注)}
QB-780714	μPD78F0711, μPD78F0712, μPD78F0714 用 インサーキット・エミュレータ	C,D,E,F

2. 新たな制限事項

今回新たに No. 7 の使用制限事項を追加させていただきました。
 詳細は、別紙を参照してください。

3. 回避策

詳細は、別紙を参照してください。

4. 改善計画

No. 7 について下記日程で改善することを計画しております。

新規出荷品	2007年 11月末出荷分より (管理記号: F)
出荷済みバージョンアップ	2007年 11月26日より受け付け開始

★本日程については予告無しに変更する場合がございますので、改善品のリリース日程については、別途、弊社営業までお問い合わせください。

注) 管理記号は 10 桁の製造番号 (シリアル No.) の左から 2 桁目に表示されています。
 バージョンアップを行っている場合は、統合デバッガ ID78K0-QB からバージョン表示ダイアログにてバージョン情報を確認してください。
 IECUBE **** X F/W: V.*.** の X が管理記号です。

5. 制限事項一覧

添付の別紙をご参照ください。

6. 発行文書履歴

文書番号	発行日	記事
ZBG-CD-06-0040	2006.5.29	新規制限事項追加(No.4)
ZBG-CD-06-0094	2006.11.9	新規使用制限事項追加(No.5) 新規仕様追加事項追加(No.6)
ZBG-CD-07-0080	2007.11.19	新規使用制限事項追加(No.7)

QB - 780714 使用上の留意点

本文書はエミュレータのみが該当する制限事項，およびエミュレータで修正予定のある制限事項を記載しています。

対象デバイスの制限事項については下記文書に記載されておりますので，あわせてお読みください。

- ・対象デバイスのユーザズ・マニュアル
- ・対象デバイスの制限事項文書

また，エミュレータの注意事項についてはエミュレータのユーザズ・マニュアルに掲載されております。こちらもおあわせてお読みください。

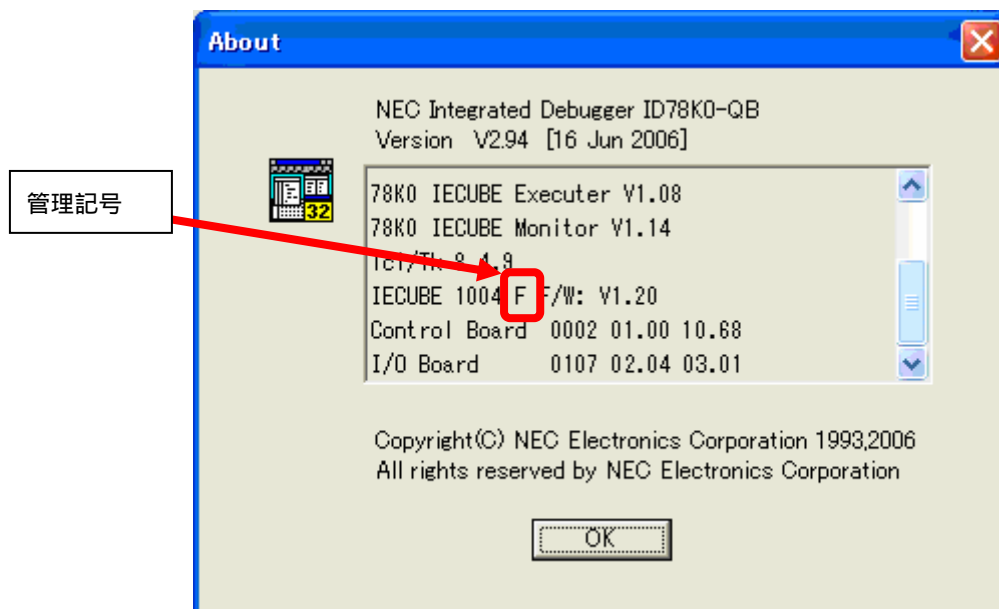
1. 製品バージョン

管理記号 ^注	備考
C	—
D	—
E	—
F	—

注) 管理記号は，10桁の製造番号（シリアル No.）の左から2桁目に表示されています。

バージョンアップを行っている場合は，統合デバッガ ID78K0-QB の動作時に
[ヘルプ]→[バージョン情報]で表示します。

IECUBE **** X F/W: V.*.** の X が管理記号です。



2 . 製品履歴

No	仕様変更・追加 / 不具合事項	管理記号			
		C	D	E	F
1	ソフトウェア・ブレークと割り込みが競合した時の不具合	×	○	○	○
2	ブレーク中にウェイトが発生する特殊機能レジスタ (SFR) にアクセスすると周辺機能が動作する不具合	×	○	○	○
3	ソフトウェア・ブレーク後, 再実行でのプログラムの動作が不正になる不具合	×	○	○	○
4	LVI の割り込み (LVI INT) 動作が実デバイスと異なる制限	×	×	○	○
5	プログラム実行中の内部 ROM 領域書き換わり不具合	×	×	○	○
6	μ PD78F0711, μ PD78F0712 に対応	-	-	○	○
7	A/D 機能のレジスタ・アクセスに関する制限	×	×	×	○

- : 仕様追加未対応 × : 該当する ○ : 該当しない

3. 不具合および仕様変更事項詳細

No.1 ソフトウェア・ブレークと割り込みが競合した時の不具合

【内 容】ソフトウェア・ブレークと割り込みが競合したとき、PC の位置が不正になります。

【回避策】ハードウェア・ブレークを使用してください。

管理記号 D 以降で修正されております。

No.2 ブレーク中にウェイトが発生する特殊機能レジスタ(SFR)にアクセスすると周辺機能が動作する不具合

【内 容】コンフィグレーション・ダイアログの Peripheral Break を Break の設定でブレーク中に、ウェイトが発生する SFR をアクセスすると周辺機能が動作します。ウェイト・クロック数に関してはデバイスのユーザズ・マニュアルを参照してください。

例：SFR ウィンドウ、ウオッチ・ウィンドウを Refresh するごとに、タイマ・レジスタがカウントアップされます。

【回避策】回避策はございません。

管理記号 D 以降で修正されております。

No.3 ソフトウェア・ブレーク後、再実行でのプログラムの動作が不正になる不具合

【内 容】2 バイト以上の命令でかつその命令の 2 バイト目の命令コードが C0H となっている命令にソフトウェア・ブレークを設定した場合、ブレーク後、スタック領域の値が不正値となります。このためそのまま再実行した場合プログラムの動作が不正になる可能性があります。

【回避策】ハードウェア・ブレークを使用してください。

管理記号 D 以降で修正されております。

No.4 LVI の割り込み(LVI INT)動作が実デバイスと異なる制限

【内 容】LVI の割り込み(LVI INT)は、実デバイスではノンマスカブル割り込みですが、QB-780714 ではマスカブル割り込みとして動作します。

デバイス：LVI の IF フラグは " 0 " 固定となり、マスク・フラグを " 1 " に設定しても割り込みがマスクされません。

QB-780714：LVI の IF フラグは、LVI の割り込み発生で " 1 " となり、マスク・フラグを " 1 " に設定すると割り込みがマスクされます(割り込みが発生しません)。

【回避策】回避策はございません。

管理記号 E 以降で修正されております。

No.5 プログラム実行中の内部 ROM 領域書き換わり不具合

【内 容】プログラム実行を長時間行っていて、ソース・ウィンドウもしくは、逆アセンブル・ウィンドウを開いていると内部 ROM の内容が書き換わることがあります。このため、発生しないはずのフェールセーフ・ブレーク(Write Protect Break や Non Map Break など)が発生します。

【回避策】回避策はございません。

管理記号 E 以降で修正されています。

No.6 μ PD78F0711, μ PD78F0712 に対応

【内 容】μ PD78F0711, μ PD78F0712 に対応しました

システム構成については、QB-780714 インサーキット・エミュレータ ユーザズ・マニュアル(資料番号：U17366JJ5)をご覧ください。

No.7 A/D 機能のレジスタ・アクセスに関する制限

【内 容】以下の特殊機能レジスタ(SFR)に対してのリード/ライト実行時、正しいデータの受け渡しができない場合があります。

- ・ P2 : ポート・レジスタ
- ・ ADCR : A/D変換結果レジスタ
- ・ ADM : A/Dコンバータ・モード・レジスタ
- ・ ADS : アナログ入力チャネル指定レジスタ
- ・ PFM : パワーフェイル比較モード・レジスタ
- ・ PFT : パワーフェイル比較しきい値レジスタ

【回避策】回避策はございません。

管理記号 F 以降で修正されています。

4 . ドキュメント訂正

特になし

5 . 注意事項

本製品の取り扱いに関する一般的な注意事項

a. 製品保証外となる場合

- ・ 本製品をお客様自身により分解、改造、修理した場合
- ・ 落下、倒れなど強い衝撃を与えた場合
- ・ 過電圧での使用、保証温度範囲外での使用、保証温度範囲外での保存
- ・ ACアダプタ、インタフェース・ケーブル、ターゲット・システムとの接続が不十分な状態で電源を投入した場合
- ・ ACアダプタのケーブル、インタフェース・ケーブル、エミュレーション・プローブなどに過度の曲げ、引っ張りを与えた場合
- ・ 添付品以外のACアダプタを使用した場合
- ・ 本製品を濡らしてしまった場合
- ・ 本製品のGNDとターゲット・システムのGNDに電位差がある状態で本製品とターゲット・システムを接続した場合
- ・ 本製品の電源投入中にコネクタやケーブルの抜き差しを行った場合
- ・ コネクタやソケットに過度の負荷を与えた場合
- ・ 電源スイッチなどの金属部分に帯電した状態で接触した場合
- ・ 静電気や電氣的ノイズの発生しやすい環境で使用した場合、または保管した場合

b. 安全上の注意

- ・ 長時間使用していると、高温(50 ~ 60 程度)になることがあります。低温やけどなど、高温になることによる障害にご注意ください
- ・ 感電には十分注意をしてください。上記の製品保証外となる場合に書かれているような使用方法をすると感電する恐れがあります。
- ・ 添付のACアダプタは本製品の専用品です。他の製品には使用しないでください